

おはなし（国語算数）教材

つくりかた

絵本用

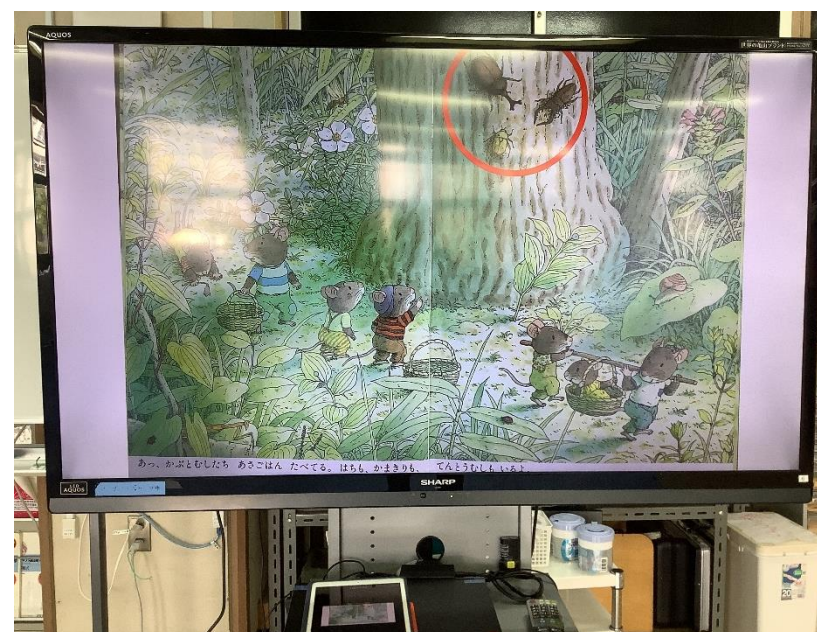
- 画用紙を使用する。

タブレット用

- Keynote のアプリ内、図形の「^{まるわく}○」型を使用する。

★色や線の太さ、^{まるわく}○の大きさは注目してほしい物、背景の色や図柄に合わせ、際立つものに変える★

★^{まるわく}○を数秒間点滅させることで視線を誘導し、より^{まるわく}○に気づきやすくする★



全体提示用モニター



個別提示用 絵本/タブレット

活用方法の紹介

「11ぴきのあさごはん」という絵本を題材にしたおはなし（国語算数）の学習です。「おねぼうさんはだあれ？」や「かまきりがいるよ！」など描写されている絵の一部がお話になっている場面があります。

かわいい絵の絵本ですが、いろいろなものが描かれている中で、お話に出てくるものが何を指しているのか推測することが難しかったり、注意がいろいろなところに移ってしまったりすることがあります。「みる」こと、「みながらお話をきく」ことについて工夫されていることを紹介します。

^{まるわく}
< ○ を使用する >

「言葉」に表されているものは「絵」の中のどの部分なのかを注目しやすい。

①注目するポイントを絞る ②示されたところに視線を移す ③言葉と絵のマッチングなどいろいろな観点で活用することができます。

<いろいろな提示の方法をする>

子どもの実態に合わせた媒体を使用することで、より授業に参加しやすい。

①モニターにつないで学習集団全体に提示する ②絵本と紙の^{まるわく}○、または個人GIGA端末を使用し、手元でモニターと同じ内容のものを提示する

